

2 特色ある学園づくり

①施策の展開	小中一貫教育の推進	課名	教育指導課
②取組概要	<p>小中一貫教育のもと、それぞれの中学校区が9年間で<u>めざす子ども像</u>⁽²⁾を明確にする中で、特色ある学園（中学校区）づくりを推進し、子どもたち一人ひとりの学力・心力・体力をさらに高める。</p>		
③構成取組	<p>(1) ドリームプラン事業 (2) 地域人材活用事業 (3) 学校評議員 (4) 教育実践の研究文・募集・褒賞式関係事務</p>		
④取組計画	<p>(1) 平成23年度より<u>寝屋川12学園構想</u>⁽³⁾として特色ある学園（中学校区）づくりを、3校（中学校1校、小学校2校）で進めるため、中学校区ごとの選考としている。中学校区ごとの書類審査、プレゼンテーションによる選考会を実施し、指定中学校区を決定する。</p> <p>(2) 地域人材の登録申請の後、小学校が総合的な学習等の講師として活用する。</p> <p>(3) 教育に関する理解及び識見を有する者のうちから、校長が推薦し、市教育委員会が委嘱する。（各校5名程度）</p> <p>(4) 校園長会において実践文の募集を行う。教職員の応募の後、選考委員会による審査を行い、最優秀賞、優秀賞、優良賞を決定する。また、褒賞式において、全員への褒賞授与とともに選考結果の発表を行い、さらに最優秀賞受賞者による実践発表を行う。</p>		
⑤取組実績	<p>(1) 中学校区が9年間の一貫した教育体制を推進図で示すと</p>		

もに、ドリームプランについて実施計画書をもとにプレゼンテーションを行った。6つの観点（子どもにとって魅力あるプランか。中学校区としてどう連携していくのか。学校全体で取り組めるのか。保護者、地域から支持されうるか。成果が期待できるか。予算が適しているか。）を審査した結果、12中学校区が選考され、1中学校区 300 万円を上限に配分を決定し、各校とも創意・工夫ある教育を推進した。

<各中学校区の主な取り組み>

【一中校区】

■中学校区推進テーマ

街の学校 SN (School Network) 3up 宣言

○レベルアップ ○パワーアップ ○マナーアップ

言語能力を向上させる教育活動のシステム構築

■中学校区での取り組みの概要

○楽しく鍛える SN (スクールネットワーク)

授業力アップ、共同研究、English Presentation Contest

○教職員が創造する SN (スクールネットワーク)

子ども支援会議、教科指導交流、小中交流部会

○保護者・地域・外部人材と協働 SN (スクールネットワーク)

子育てサポート活動、地域行事への参加、石巻ネットワーク

【二中校区】

■中学校区推進テーマ

「培其根 (ばいきこん)」～双葉学園学力向上プラン～

自学自習できる心豊かな二中生を育てる

平成 25 年度重点テーマ 『 姿勢Ⅲ 3S 』

○Style 『美しい姿勢(体力)』

○Soul 『主体的な姿勢(学力)』

○Scrum 『つながる姿勢(心力)』

■中学校区での取り組みの概要

- 「美しい姿勢(Style)」を保幼小中協働で身につけさせることで体幹を鍛え、体力・学力・心力の向上を図った。
- 「タブレット端末」を活用した協働学習の取り組み。
- 支援教育公開研究会の開催（京都府総合教育センター後野文雄氏）。

【三中校区】

■中学校区推進テーマ

「香里園元気学園」

- 「心育」～9年間で育てる心力～ 「日本の心を学ぶ」
- 「学力」～魅力ある授業づくり～ 『わかる』喜び、『学ぶ』楽しさ」

■中学校区での取り組みの概要

- 「心育」～9年間で育てる心力～
 - ・和楽器（北小…三線、田井小…和琴、三中…和太鼓）を通じた、自己有用感の育成
 - ・道徳教育の充実による、道徳心と規範意識の醸成
- 「学力」～魅力ある授業づくり～
 - ・ICT教育の充実による、デジタル教科書の有効活用
 - ・教員研修の充実による、全教員の授業力アップ

【四中校区】

■中学校区推進テーマ

自ら学び 共に創る 学園生の育成

■中学校区での取り組みの概要

「言語活動」と「自主・自立」を積極的に取り入れた学園づくり

- ノーチャイム制の導入（チャイムがなる前に行動）
- ICT機器を活用しわかる授業（収納式スクリーン設置）
- 学園3校夏季合同研修会・合同視察 学園交流授業研
- 学園生合同ソーラン
- フェスタの児童生徒企画 学園ギャラリー（東寝屋川駅）

【五中校区】

■中学校区推進テーマ

「どんな場面でも凜とした学びの姿勢が貫かれている子ども」の育成～学力と社会性を身につけた魅力ある子どもを育てること。～

■中学校区での取り組みの概要

- 言語活動を生かした学び合いの学習を通して、子どもが主体的に取り組む授業を行い、学力の向上をはかる。
- ICTの積極的な活用。また英語教育の充実を図り、子どもの意欲を引き出しよりよく生きようとする態度を育む。
- きりっと引き締まった態度を育むため、心力（道徳教育）および体力（体育授業）の充実をはかる。

【六中校区】

■中学校区推進テーマ

「学力が身についた子ども 健康でたくましい子ども 心豊かな子ども」の育成をめざし、学力・体力・心力の向上を図る

■中学校区での取り組みの概要

- 学習ツールを用いて自学力向上と学力定着
- 体育教具を使つての基礎体力向上
- 茶道に親しみ心力向上
- 校区カレンダーを保護者や地域に配布することによる、学校・家庭・地域が共に子どもを育てる環境整備
- 三校合同研修の充実
- 道徳授業の充実、研修の実施

【七中校区】

■中学校区推進テーマ

自らの力と意志で進路選択できる子

■中学校区での取り組みの概要

- 「萱島くすの木太鼓」の協力での和太鼓の取り組み

○和太鼓フェスティバル参加

○「キャリア教育」の一環として「ものづくり教室」を実施

【八中校区】

■中学校区推進テーマ

学びいっぱい・夢いっぱい・元気いっぱい 寝屋川西部学園の子ども達!!

■中学校区での取り組みの概要

○「移動美術館」と名づけ名画を3校で巡回展示

○ICTの活用等、授業力を向上させる研究授業

○中学生や地域人材のサポートによる小学校の校庭キャンプ実施

○小中で一貫した道徳の授業を推進

【九中校区】

■中学校区推進テーマ

小中9年間で育てる「知・心・体」の調和のとれた元気な子ども～あたたかい保護者・地域の『活力』を生かした学園づくり～

■中学校区での取り組みの概要

○小学校間の学力格差解消の取り組み

○基本的な生活習慣の確立

○小・中で一貫した生徒指導

○地域・保護者連携による子育て共有

【十中校区】

■中学校区推進テーマ

自らの力で進路を切り拓く子どもの育成

■中学校区での取り組みの概要

○道徳教育推進の体制づくり（3校合同道徳研修会、講演会、道徳出前授業）

○ドリーム講演会の実施。

【友呂岐中校区】

■中学校区推進テーマ

Future School の実現と新たな学びの創造

■中学校区での取り組みの概要

○ICT…教えられる学びから主体的・創造的な学びへ

確かな基礎・基本の学力育成 汎用型活用研究

一斉学習に加えて個別学習、協働学習の充実

○学びの共同体…確かな学力を形成する教育

PISA型読解力の育成 [新聞活用]「学び合う」授業

実践 3校合同校内研究支援プロジェクト（先進校視察）

○英語考動力…世界市民を育てる教育

英語教育推進プロジェクト ホップステップイングリ

ッシュ 国際理解教育

○道徳…高い倫理観と自律心を養う教育

寝屋川市道徳教育の牽引・推進 読み物資料活用研究の

充実 情報モラル教育の実施

○中1ジャンプ…たくましく生きる力を育成する教育

励まし合い高め合う体育授業 食の自己マネジメント

力育成 防災教育の実施

【中木田中校区】

■中学校区推進テーマ

～「世界へ羽ばたく夢を持てる子ども、笑顔と自己有用感に溢れた子ども、基礎を固め学・心・体が備わった子ども」の育成～

“あいさつ”でつながる校区 “英語”でつながる校区

“児童と生徒”がつながる校区 “小中の教師”がつながる校区

■中学校区での取り組みの概要

○小中合同研修会実施（ことばセミナー、弁当の日、携帯・スマホ）

○小中授業交流研修（年3回実施）

○小中英語授業交流（小小・小中）

○小中合同パトロール（年4回実施）・地域行事参加

○中学校区「なわとび大会」

(2) 小学校で758回の活用を行った。具体的には、伝統文化指導（和太鼓、茶道、民謡）、音楽指導、伝承遊び指導、国際交流指導、食育指導等、24種目の講師として招聘した。

<地域人材の主な活動>

【体育】模範泳法個別指導、実技指導、実技補助

【読書】読み聞かせ、読書指導、お話し会

【音楽】歌唱指導、器楽指導、コンサート

【平和】体験講話

【伝統】書道、茶道、和太鼓指導、伝承遊び、囲碁

【福祉】障害教育、福祉教育（手話、視覚・聴覚障害指導、高齢者疑似体験、指文字、点字、車イス体験）

【情報】まとめ学習（新聞作り）、調べ学習（インターネット等）、カレンダー作り、自己紹介カード作成、お絵かき、作図、絵地図

【国際理解】国際交流指導（中国・ベトナム等）

【地域理解】校区の移り変わりと生活の様子

【食育】食育指導、造園補助、味噌作り

【学習指導】放課後学習、学習補助（国語・算数・英語等）

【その他】絵手紙指導、自然体験学習、キャリア教育、アニメクラブ、校内環境美化、人権教育、園芸指導、支援教育（児童生徒指導補助）、陶芸指導、理科補助

(3) 小中学校で 157 名の学校評議員を配置した。

< 学校評議員の人数・内訳 >

	保護者	自治会	企業	社会 福祉	社会 教育	学識 経験	同窓会	その他	計
小学校 計	24人	28人	3人	19人	6人	16人	2人	7人	105人
中学校 計	12人	15人	3人	7人	5人	7人	0人	3人	52人
25年度 計	36人	43人	6人	26人	11人	23人	2人	10人	157人
25年度 %	23%	27%	4%	17%	7%	15%	1%	6%	100%

(4) 教職員の応募数 128 点（個人研究 119 点、共同研究 9 点）
中、最優秀賞 1 点、優秀賞 2 点、優良賞 6 点を表彰し、うち
最優秀賞・優秀賞の作品を褒賞式にて表彰した。

< 年度別応募点数 >

		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
応 募 数	総 数	154 点	148 点	128 点
	個人研究	139 点	137 点	119 点
	共同研究	15 点	11 点	9 点
応募校数		4 幼稚園・ 全小・中学校	全幼稚園・ 全小・中学校	全幼稚園・ 全小・中学校

⑥ 評価

(1) 各中学校区が計画的にプランを実施したことにより、全中学校区において、特色ある学園づくりが進んだ。また、各学園の課題解決に向け、学園合同での研修会の開催や、先進校視察、多くの外部人材の活用など、学力・体力・心力向上への取り組みが推進された。授業研究会における講師招聘など、

各校の研究推進においても本プランを活用している学校もあることから、学園の特色づくりに加え、各校の研究推進の面においても、本プランを活用していく必要がある。

<各学園における主な成果>

【一中校区】

- 合同研修会・合同先進校視察により、校区の課題が明確化され、その解決に向けて具体的な取り組みを行うことができた。
- 「スクールネットフェスタ&English Presentation Contest」の開催により、自学自習力の向上が図れた。
- 各種アンケートによる学校教育活動が、授業力・学校力を向上させる取り組みに繋がった。
- 公開授業研究会の開催（国語）により、授業改善に向けた取り組みを行うことができた。

【二中校区】

- 姿勢指導において、保幼小中一貫の指導が実施できた。
- タブレット端末・電子黒板・デジタル教科書等の活用により、授業における学習意欲が高まるとともに、子どもたちの自主的な学習態度にも繋がった。
- 図書管理システムの導入により、読書活動を推進することができた。
- 公開授業研究会の開催（国語・表現活動）により、教員が一人丸となって授業力向上の取り組みを行うことができた。

【三中校区】

- 3校合同の和楽器の取り組みにより、自己有用感の育成や地域貢献を図ることができた。
- 香里園元気学園サミットの開催により、小学校児童会と中学校生徒会の交流が活性化した。
- 書道の取り組みにより、集中力が育成され、他の教科においても落ち着いた状況になった。

○電子黒板等の各種デジタルコンテンツを活用した授業により、意見交流が盛んになり、自学自習力の育成が図れた。

【四中校区】

○合同授業研・合同先進校視察等により、「学び合い」を授業に取り入れることとなり、その結果、子どもたちに思いやりの心が育ちつつある。

○「学校ナビ」の発行が、教育内容の周知と家庭への協力依頼に繋がった。

○普通教室のホワイトボード化やICT機器の活用により、誰もがわかりやすい授業の構築をめざすことができた。

○アジリティトレーニングの導入により、基礎体力の育成が図れた。

【五中校区】

○合同授業研・合同先進校視察等により、学び合いの学習や言語活動の充実による授業力向上を図ることができた。

○デジタル教科書の活用・留学生や外国（台湾）との交流等により、英語力・コミュニケーション力の育成が図れた。

○体育インストラクターの活用により、体力向上が図れた。

○ホワイトボード活用の授業が、プレゼンテーション力の育成に繋がった。

【六中校区】

○問題データベース「学習クラブ」の活用が、自学自習力の育成に繋がった。

○校区カレンダーの保護者・地域への配布により、学校・家庭・地域で、共に子どもを育てる環境を整備できつつある。

○合同研修会・合同先進校視察等により、授業改善に向けた取り組みを行うことができた。

○「英語でしゃべった DAY」の開催で外国人留学生と交流することにより、英語力・コミュニケーション力の育成が図れた。

【七中校区】

- 一流の匠の技に触れる「ものづくり教室」の実施により、将来の自分の目標を設定する機会を得ることができた。
- キャリア教育の実施により、仲間と支え合い、自らの意志で進路選択のできる子どもの育成をめざすことができた。
- 問題データベース「学習クラブ」の活用により、学習環境の充実が図れた。
- 和太鼓指導により、地域の教育力を生かした文化的活動を行うことができた。

【八中校区】

- 名画購入による「移動図書館」の開催により、情操豊かな子どもの育成を図れた。
- 電子黒板・デジタル教科書等の活用が、視覚・聴覚へ働きかけるわかりやすい授業の確立に繋がった。
- 教育活動発信用掲示板の設置により、保護者・地域への情報発信を行うことができた。また、上級生の活動を掲示することで、上級生に対する憧れや尊敬の気持ちの育成も図れた。
- 校内研修会の活性化により、授業力の向上が図れた。

【九中校区】

- 「ひまわりプラン」の実施により、保護者・地域との連携を密にすることができた。
- 公開授業の開催が、授業力向上に繋がった。
- 小中一貫生徒指導マニュアルの作成により、3校の生徒指導体制を統一することができた。
- 収穫祭・親子料理教室等の開催により、食育の推進が図れた。

【十中校区】

- 合同研修会、合同先進校視察等により、授業力向上及び道徳授業における指導力向上が図れた。
- D2 ダンスの創始者を招聘した講演会により、子どもたちのダ

ンスに対する意識が前向きになり、「全国中学校リズムダンスふれあいコンクール」での優勝に繋がった。

○公開授業研究会（理科）により、授業力向上が図れた。

○問題データベース「学習クラブ」の活用が、自学自習力の育成に繋がった。

【友呂岐中校区】

○公開授業研究会（道徳）により、授業力向上が図れた。

○ICT機器活用授業による講師招聘により、ICT機器を活用した授業力向上が図れた。

○問題データベース「学習クラブ」の活用が、自学自習力の育成に繋がった。

○「アートマイル壁画」「匠の技に学ぶ」により、国際理解教育及びキャリア教育の推進が図れた。

【中木田中校区】

○学園の目標を「言語力向上」ということで掲げているが、合同研修会等により、3校の教員が共通認識を持って取り組むことができた。

○「英語でしゃべった DAY」の開催で外国人留学生と交流することにより、英語力・コミュニケーション力の育成が図れた。

○図書管理システムの導入が、読書活動の推進に繋がった。

○「お弁当の日」の取り組みや食農体験により、食育を推進することができた。

(2) 水泳、国語、音楽など各教科領域に加え、情報教育など外部の専門的な技術や知識をもった人材に、積極的に教育活動に関わっていただくことで、児童・生徒にとって、学習の場がより新鮮なものとなった。これをきっかけに、学校と地域社会の連携も進み、開かれた学校づくりが進んだ。中学校での活用希望も多く、今後中学校での活用も検討していく必要がある。

(3) 学校長のリーダーシップのもと、学校・家庭・地域が連携・協力した開かれた学校づくりを推進するため、各校での学校評議委員会だけでなく、学校公開日や授業参観、運動会・体育大会等、様々な学校行事へも積極的に参加いただき、日頃から意見を求めることで、家庭・地域等の意見の把握を積極的に行った。これらの意見をもとに、学校経営・学校改革に活かすことができ、開かれた学校づくりがより一層進んだ。

また学校評議員に、学校内外のあらゆる教育活動を行う際の地域ネットワークになっていただき、保護者や地域に向けた学校行事参加の働きかけによる学校活性化や、連携・情報交流による不登校の解消・未然防止にもつながっている。

今年度は、教育委員の学校訪問の際に同席いただき、意見交換を行った。今後も引き続き、開かれた学校づくりを進めるため、広く意見を求めるとともに、意見を求める機会を増やしていく必要がある。

(4) 経験年数が少ない教員が占める割合が増加する中、教職員の指導力向上は喫緊の課題である。その中で、教育実践を自ら整理し、様々な視点から見直しを図り指導を改善することは大変有意義なことであると言える。選考委員からも、年々教育実践の内容にも深まりがみられるようになってきているとの意見もあり、優れた実践の成果を市全体に広く普及させ、教育活動の充実や小中一貫教育の推進に活かしていくことが、教員の指導力向上に繋がっていると考えられる。しかしながら、今年度は、全学校園の教職員から応募はあったものの、各校において、実践文の内容の充実を図るために、実践文の精査を行ったため、市全体の応募数は減少した。今後、引き続き、優れた実践を継承していくため、本取組の趣旨を踏まえより多くの応募につながる取り組みを進めていく必要がある。

